

第 12 回 文教厚生常任委員会

開催日 令和 5 年 9 月 28 日（木曜日）

開催場所 粕屋町役場 3 F 32 会議室

開催時間 9:30~12:00

出席者	議員	井上委員長・宮崎副委員長・本田委員・久我委員 田川委員・福永委員・古家委員
	事務局	藤川局長・松永係長
	担当課	箱田町長 住民福祉部（神近部長） 子ども未来課（渡辺課長・山田主幹）

欠席者 なし

報告事項

報告事項

- 1) 「町立幼稚園・保育所未来プロジェクト提言書（素案）」に関する意見募集の実施結果について
3 件のパブリックコメントに対して検討した結果を報告。
 - ・幼稚園・保育所の情報発信（アピール）について提言書に盛り込んだ。
 - ・素案 12 ページの訂正について
 - ・閉園する幼稚園に関して、強く反対する保護者はなく、よその入園の検討をされている。今後閉園に向かいきめ細かい情報を発信していく。
 - ・どこに情報発信をしているのかよくわからないところが反省点である。

質問

- ・仲原保育所を小規模保育園に建て替えるときに、補助金はあるのか。 ⇒ こども家庭庁及び厚労省でも公立の小規模保育園であれば 3 分の 2 の補助金が出る。
- ・町長のまちづくりの手法についてこれでいいのか。町民に問うことについて。 ⇒ 素案を練る段階では意見を言えない。
- ・提言を受けてないところでパブリックコメントを出せるのか。 ⇒ 素案を作る中でパブリックコメントを出そうと決まった。

2) 素案に対する町長の考え

9 月 21 日、町立幼稚園・保育所未来プロジェクト提言書を町立保育所・幼稚園あり方検討会議の富永教授と川崎教授よりいただいた

報告事項

た。

提言書の中にある子どもが減少する一方、0～2歳児の保育に対するニーズが増えていることから、提言の内容が粕屋町が目指すべき保育状況ではないかと考える。仲原幼稚園を閉園し、仲原保育所を小規模保育所として建て替え、さらに中央幼稚園を閉園する素案を受け止めて進める。保育所に関しては、国の補助金を使いながら建て替えを行っていく。

これが現在の考えで、これから、さらに町民に周知し意見を聞きながら決定していく。

質問

・あり方検討会議で出された提言書（素案）に対して、パブリックコメントを求められたが、町長自身が提言を受けていない中で募集するのはなぜか。⇒ このような方法をとってもいいと思う。（町長）仲原幼稚園の園児募集は情報発信を行いながら令和7年度は行わない。

意見

- ・少数の方が、困らないよう丁寧な説明をお願いしたい。
- ・閉園まで3年しかない。園児の行き先まで考えてほしい。
- ・民間がやれないところを考えていくべき。
- ・これまでは4園の町立があったが、保育全体を町が見ていくように進めてほしい。

町長：公立、私立それぞれの良さがある。連携も私立には難しさがある。民間ができないところを補っていききたい。

協議

採決をする必要はなく、本日は報告を聞いたまで。これから町長が条例を変更するときに採決を行えばよい。

3) 視察について

- ・福岡市への視察について（日時・場所・内容の確認）
- その他の視察先は、受け入れ先がなかったため延期。

4) PTA 役員との意見交換会について

- ・10月4日 19:30～ 於：サンレイクかすや
- ・新しくなったPTA組織についての課題を聞く。
- ・答えるものを持ち合わせていないので、後日委員会で協議する。
- ・現状を聞いてみる。

○議会として意見を交換する会に参加していく。

任意で行くのがいい。

事前に司会者にお知らせする。

次回は10月16日（月曜日）9:30